



7月20日は海遊館の開館記念日 海遊館と天保山マーケットプレースは30周年を迎えます ～小中学生を対象に「未来の水族館」アイデアを募集します～

2020年7月20日(月)、「海遊館」と「天保山マーケットプレース」(大阪市港区)は30周年を迎えます。特別展「海遊館ミュージアム」では、蓄積してきた知識と技術を紹介し、海遊館の未来について小中学生からのアイデアを募集します。また、周年を機に水槽の照明や観覧通路のリニューアルを施して、新たな一歩を踏み出します。

開催中の30周年記念特別展「海遊館ミュージアム」では、ほぼ実物大の映像やバックヤードで使用している予備水槽などを展示し、これまでお伝えしてこなかった裏側の工夫をはじめ、建設当時の資料や展示テーマを表現した建築デザインなど、30年間で蓄積した知識や技術を詳しく紹介しています。さらに、未来の海遊館を考えるコーナーを設け、海遊館の“これまで”と“これから”をお伝えします。

そして、周年を迎えるにあたり、ほぼ全ての水槽に最新のLED照明を導入し、開館当初から拘り続けている“生態展示”を進化させました。太陽光が海中で作出す美しい光の束や雲が太陽を遮る瞬間など、自然の変化を表現しています。

さらに、エントランスには横幅8m×高さ2mの大型ディスプレイを新設し、海遊館のテーマ「環太平洋火山帯(リング・オブ・ファイア)」と「環太平洋生命帯(リング・オブ・ライフ)」を視覚的にお伝えしています。

周年を機に、改めて海遊館のコンセプトやメッセージをお客様にお届けし、海と自然の美しさ、そして生命のすばらしさを体験していただくことで、情操豊かな暮らしに貢献していきたいと考えています。

尚、現在、海遊館は新型コロナウイルス感染予防のため、WEB予約制により入館人数を制限した営業を行っています。

【30周年記念企画「未来の水族館」アイデア募集について】

小学生と中学生を対象に、海遊館の未来を考える「未来の水族館」アイデアを募集します。自由な発想を絵画で表現した作品を海遊館までお送りください。詳細はHPにてお知らせします。

(概要)

- 募集期間 2020年7月20日～2021年3月31日まで(予定)
- 応募作品 「未来の水族館」について、アイデアを表現した絵画作品(八切りサイズの画用紙)
- 作品展示 選考の上、数点の作品を特別展「海遊館ミュージアム」の“未来の海遊館”コーナーに展示させていただきます。展示作品の応募者には、賞状のほか、海遊館入館券やぬいぐるみなどを進呈します。



30周年記念特別展「海遊館ミュージアム」の内観

【30周年に向けた各種リニューアルについて】

【(1)太陽光の美しさを表現した照明リニューアル】

ほぼ全ての展示水槽に最新のLED照明を導入し、単に明るさの確保ではなく、光による自然環境の表現に工夫しました。「太平洋」水槽では、“太陽をつくる”をテーマに、海中に差し込む光の束や海底に映る波紋を表現しています。



“太陽をつくる”をテーマにリニューアルした「太平洋」水槽

【(2)海遊館のテーマを大型ディスプレイで表現】

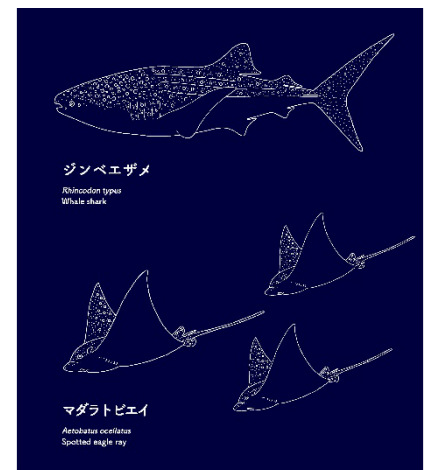


ダイナミックな映像でテーマを伝える

海遊館の展示テーマ、「環太平洋火山帯（リング・オブ・ファイア）」と「環太平洋生命帯（リング・オブ・ライフ）」は、これまであまり知られていませんでした。横幅 8m×高さ 2mの大型ディスプレイを新設し、視覚的に表現することで、地球と生命の不思議と面白さに気づききっかけを提供し、今まで以上に鑑賞体験が充実することを願っています。

【(3)個性的な線画イラストで生きものたちの特徴を紹介】

海遊館は、太平洋を中心に各地のさまざまな自然環境を切り取って、できるだけ忠実に再現しています。水槽周辺の解説表示を見直し、再現している地域を写真やテキストを使って分かりやすく解説しています。また、館内での没入感を高めるため、アクリルパネルへの映り込みを最小限に抑え、飼育員監修のもと、生きものたちの名前や特徴をモノトーンの個性的な線画イラストで紹介しています。



飼育員が監修した生きもの線画

【(4)自宅でもじっくり海遊館を楽しめる新リーフレット】



館内に設置している新リーフレット

海遊館での鑑賞体験をご自宅に帰ったあともお楽しみいただきたいという想いで制作しました。海遊館の特徴や魅力を全14頁で表現しています。海遊館のコンセプトやテーマはもちろん、見所ポイントや飼育員のコラムなど、海遊館を深く楽しめる情報が詰まったリーフレットです。

【(5)館内カフェをリニューアル】

解放感ある空間にリニューアルし、店舗面積が128㎡から172㎡に広がりました。大阪湾を一望できる魅力に加え、新たにタカアングニなどの生き物が暮らす「日本海溝」水槽が眺められるようになり、より一層快適な空間でお寛ぎいただけます。また、海遊館のコンセプトやテーマをお伝えしたいという想いから、店名を「マーメイド」から海遊館のテーマである「環太平洋火山帯（リング・オブ・ファイア）」の頭文字をとって「R.O.F.」に変更しました。



「日本海溝」水槽が眺められる座席

(6) 30周年を記念する各種装飾

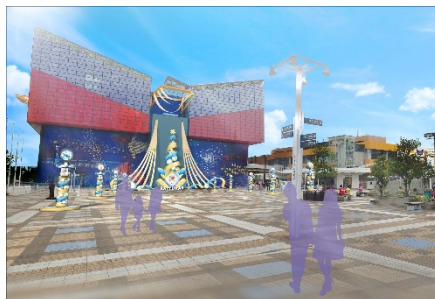
生命の躍動感や不思議さ、楽しい驚きと祝祭感を親しみやすく感性的なカタチで表現した周年ロゴのデザインをモチーフに、噴水広場にウェルカムガーデン（花壇）を新設しました。また、ウェルカムガーデンをぬけると、海遊館前のイベント広場には、人と人とのつながりや温かさをイメージした祝祭空間を演出したオブジェが広がります。

海遊館の壁面には大きさ約 20m の巨大なオブジェが登場するほか、マーケットプレース内の一部なども 30 周年にちなんだ装飾を施しており、天保山ハーバービレッジ一帯で祝祭感を演出しています。この特別な 30 周年を天保山ハーバービレッジ一帯でお楽しみいただき、心から寛げる一日をお過ごしいただきたいと思います。

まいにち奇跡。



噴水広場のウェルカムガーデン



海遊館壁面の記念オブジェ



天保山マーケットプレースの祝祭空間

【「海遊館」の概要】

1990年7月20日に開館。テーマは、「環太平洋火山帯（リング・オブ・ファイア）」と「環太平洋生命帯（リング・オブ・ライフ）」。「地球上でもっとも大きな海「太平洋」を中心に、環太平洋の特徴的で美しい自然環境を再現した生態展示が特徴。太平洋を回遊する雄大なジンベエザメや極寒の海を泳ぐオウサマペンギン、地球規模の環境変化の影響を受けるワモンアザラシなど、多様な生きものたちの生き生きした姿をご覧いただきながら、海中を散策するような体験を通して海遊館のメッセージ「すべてのものはつながっている」をお伝えしている。

1997年には、高知県土佐清水市に水族館附属の研究施設として世界最大規模の水槽を持つ「大阪海遊館 海洋生物研究所 布利センター」を開設し、大型海洋生物の調査研究に取り組んでいる。